

# 五色池通信

263 2006年7月5日発行

中土手に自然を戻す市民の会

東京都江戸川区東小松川 3-35-13-204

〒132-0033 Tel 3654-7240 Fax 03-3654-7256

ホームページ: <http://www.cleanaid.jp/nakadote/>

## ザリガニとクロベンケイガニがいっぱい

6月18日の五色池は、雨で中止。雨の合間をぬって、大塚、山本、佐藤の3人で草刈を行いました。

### 平井小学校4年生

6月16日に予定していた平井小学校4年生の中土手たんけんは、雨で1週間延びて、23日に実施。平井小学校の五十余名の元気な子どもたちが、五色池でザリガニやクロベンケイガニを捕まえておおよろこびでした。5月の春祭りのときは、まだ、川エビのようだったザリガニも、みな赤くなってザリガニらしくなり、子どもたちはたも網で掬ったり、糸の先に裂きイカを縛りつけたさおで釣ったりして、たくさんとっていました。クロベンケイガニも驚くほどたくさんいて、子どもたちは、軍手をつけた手で捕まえたり、あみで掬ったり、さらには、カニの穴にスルメのえさをたらしつけてつりあげたりと、初めてとは思えないほど上手にカニをとっていました。

### 大杉小学校3・4年生

大杉小学校の3・4年生約120人と教師・父母150人くらいが、中土手にやってきました。午前中はそれぞれグループ毎に「目当ての学習」。虫グループは、コガネグモのけんかをさせ、大きなクモが小さいクモを糸で丸め込んでしまう瞬間も見ることができました。ザリガニやクロベンケイガニがたくさんとった子も大勢いました。そのあと、俳句作りと、お弁当。そして午後からは、みんなでクリーンエイドをしてから、対岸の下平井水辺の楽校に移動。あら!!!びっくり池やその先の干潟で、小魚やエビ、カニなどを取って大はしゃぎ。4年生は昨年3

次回は7月16日 午前10時から

次々回は9月17日「鳴く虫を探そう」子ども自然学校(8月はお休みです)



年生のときに経験しているので、大胆に泥の干潟に入って遊ぶ子もいて、泥んこになっても楽しそうでした。

## 新中川フェスタ

6月25日は、新中川で、今年で3回目の「新中川フェスタ」が行なわれ、下平井水辺の楽校が投網とヨシ笛、ミニヨシズ編み器を使ってセイタカアワダチソウのスタレ造りを参加者に体験してもらいました。お祭り気分、「お客」が次々に来て、当日はスタッフが薄井、中嶋、佐藤の3人だけと少なく、昼飯を食べる余裕もないほどでした。



小岩大橋下流の、新中川で唯一広いヨシ原と干潟が残ったところで投網体験。6月6日に、同じ場所で南小岩小学校5年生がクリーンエイドと干潟遊びを実施したさい、この新中川フェスタで投網の体験できることを楽しみにしていたという男子が二人来て熱心に「修業」し、二人とも上手になって、ボラやマハゼ、テナガエビなどをたくさん獲って、持ち帰ってゆきました。一緒に来たお父さんも、ビールつまみが出来たと大喜び!! 午後になって潮が満ちてくると、スズキやマルタウグイなどの魚も獲れるようになり、さらにたくさん子どもたちが来て、教えるのがたいへん。そのうち子どもたちはたも網で、鋼矢板護岸のわきをすくってテナガエビをとる方法を覚え、終了時間が過ぎててもなかなかとまらない様子でした。

## 7月2日 小松川池 子ども自然学校に50人参加

7月2日、えどがわエコセンターの子ども自然学校として案内が江戸川区の広報に載り、40名定員のところ2倍近い約80名の応募があり、抽選で50名の親子が選ばれました。そして当日、一般参加者49名、スタッフ11名で実施。江戸川区の映像取材スタッフが1名参加しました。

池のザリガニは比較的少なかったのですが、クロベンケイガニが非常にたくさんいて、子どもたちはそれぞれ数匹から10匹以上も捕まえて大はしゃぎでした。

ザリガニが少ないのは、5月14日に、1号池の水が少なくなった際に、足立区市民会議を案内した折にザリガニ(の小エビ)をたも網で取って、食べたのが効果があったと内心ほくそ笑んでいます。

豚汁は、大小3つの鍋で作り、みなさんが御代わりするほどたくさんできて好評でした。

昼を食べ終わった頃に雨が降り出し、高速道路の下に雨宿り。そこでヨシ笛教室を行い、ヨシ笛がこだましました。顔を真っ赤にして一所懸命吹いている子や、意外と大人より上手に吹ける子もいて、たのしいひと時でした。

最後に、全員で記念写真を撮って解散。

スタッフのみなさん ありがとうございます。



次回は8月27日午前10時から お昼トン汁あり

